

## クリエイティブラーニング講座

かずのり  
石井重成先生（釜石市オープンシティ推進室長）に聞く



# 何のために学ぶのか？

## 第2弾：「まちをつくる」仕事

学部学科・大学選択、大学での学びと今の仕事

新入試では「主体性・多様性・協働性」を評価するために、推薦入試だけでなく、一般入試でも「志望理由」の提出を求める大学が増えていきます。そのためには、「大学で何を学びたいのか」「社会でどう活躍したいのか」という明確なビジョンを持つことが必要です。

しかし、「自分は何を学びたい？」「学部・学科はどう選ぶ？」「将来のビジョンはどう考える？」など、進路に関する疑問や悩みは尽きないものですよね。

そこで、岩手県釜石市で現在「まちをつくる」仕事に携わっている石井重成先生に、お話を伺います。先生は大学卒業後に経営コンサルティング会社に就職しましたが、東日本大震災を機に岩手県釜石市に移住し、「まさか」の人生を歩むことに。しかし、それまでの学びが今の仕事の糧になっている、と先生は言います。被災地で何を見て、何を考えたのか？ 先生の価値観と生き方には、学ぶべきことが山ほどあります。皆さんの考えるヒントにしてください。

学部学科の選択はどう決めた？

仕事はどのように決めた？

大学での学びは、仕事にどう生きている？

**日時** 12月19日（土）18:00～19:30

**対象** 城南予備校DUO、城南コベツ在籍の高校生・高卒生 ※保護者の参加も歓迎します。

**種別** オンライン講座（Zoomにて実施）

**価格** ¥1,500  
※校内生は無料  
※冬期講習申込者は無料



SDGs 目標

11 住み続けられるまちづくりを



### クリエイティブラーニング講座とは

世界の問題を他者と共に考えながら、新しい価値観・世界観を創造する力を養う講座です。推薦・総合型選抜でも一般選抜でも求められる「新学力」を、楽しみながら育みます。

## 講師 石井重成 先生について

かずのり



岩手県釜石市と言えば、「海の幸」「鉄鋼」「ラグビー」を連想しますが、東日本大震災で多くの方が犠牲となった「被災地」の一つでもあります。石井先生は現在、「釜石市オープンシティ推進室長」という立場でまちづくりの仕事をされています。

先生は震災の1年後に被災地を訪れ、その直後、それまで勤めていたコンサルティング会社を辞めて釜石市に飛び込みます。それ以来釜石市の復興に尽力され、2016年になんと29歳の若さで現在の立場に就任されました。

大学で学んだ哲学やコンサルティング会社での経験が、現在のまちづくりの仕事に生きている、と先生は言います。一体、どういうことでしょうか？

今回のクリエイティブラーニング講座は、進路選択、大学の学び、仕事のやりがい、今後のチャレンジなどを、石井先生に根掘り葉掘り伺います。刺激的なトークにご期待ください！

**プロフィール：**1986年愛知県西尾市生まれ。国際基督教大学を卒業後、経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括。半官半民の地域コーディネーター釜援隊、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育、広域連携による移住・創業支援ローカルベンチャーコミュニティ、地域におけるSDGs活用など、人口減少時代の持続可能なまちづくりを推進。釜石市オープンシティ推進室長、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、総務省地域情報化アドバイザー、青森大学客員准教授。震災復興・地方創生・リーダーシップに関する講演多数。

## Time Schedule

- 17:45～ Zoom入室
- 18:00～18:05 イントロダクション
- 18:05～18:50 講師ご講演
- 18:50～19:25 対話セッション
- 19:25～19:30 アンケート記入

## 石井先生の挑戦に学ぼう！

<https://note.com/kamaishilq/n/n6b75256a6069>



## 申込方法

城南予備校 DUO  
プロ講師 × AI個別

GoNAVIアンケートにて参加希望調査を行いますので、ご回答ください。

※お申込み期限：12月17日（木）まで

## 受講に際して

■本講座は、受講者の積極的な参加を歓迎します。予め以下の2点をご確認ください。

※申込み後に、別途メールでもご案内します。

①受講前に予習として、講師の石井先生の半生と仕事を理解するための動画を予めご視聴いただきます。

申込者に動画のリンク先を、メールでお送りいたしますので、必ずご視聴ください。

②本講座の中で、石井先生への質疑応答や、生徒同士で対話する時間を設けます。動画を視聴しながら、講師に質問したいことや疑問に思ったことなどを、各自でまとめておいてください。